

*[Faint, mostly illegible handwritten text in cursive style]*

若授守通宗朝臣女子達歌合應德三年三月十九日

題

春駒

櫻

子規

水鷄

花

月

鴛

客

戀

祝

歌人

充

香石

判者

通倭朝臣

一番 春駒

尤勝

阿闍梨

春のふきしらけく春のたのしみはあはれはるかに

右

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

二番 櫻

尤持

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

右

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

あはれはるかにあはれはるかにあはれはるかにあはれはるかに

三番 郎公

卷百十三



秋も美しき嘆のふきふ身はるゝあもなきえみうらもか  
右勝 阿闍梨

もろ鳴あふれ大野とまてなまにひまら秋ふりも  
尤奇ありはひ心望よらてあもなきえみうらもか  
もむりもひうらもみかたあもなきえみうらもか  
わく大野かこころ極みあふりひまら秋ふりも  
あもなきえみうらもみかたあもなきえみうらもか  
この故きもあもなきえみうらもみかたあもなきえ  
あもなきえみうらもみかたあもなきえみうらもか  
あもなきえみうらもみかたあもなきえみうらもか  
あもなきえみうらもみかたあもなきえみうらもか

六番 月

尤持

出雲君

月みらと秘知らぬのはあまに戀するがえり人よを待て

右

中務令婦

みらとあふ月みらとあふ月みらとあふ月みらとあふ  
尤奇秘知らぬのはあまに戀するがえり人よを待て  
あひの心なきあもなきえみうらもみかたあもなきえ  
まもなきえみうらもみかたあもなきえみうらもか  
まもなきえみうらもみかたあもなきえみうらもか  
まもなきえみうらもみかたあもなきえみうらもか



衣子に似かこころのひまをきりかきしを  
かこころをつみの影かこもほしくかき又まじり  
まじりあはれん  
はやくもほしくまじりあはれん

九番 戀

尤 拵

幾人かき

今とぬまのまのいあはれんまじりあはれん  
戀かあはれんまじりあはれん  
尤拵今とぬまのまのいあはれん

右

中ありのあはれんまじりあはれん  
あはれんまじりあはれん  
まじりあはれん  
あはれんまじりあはれん  
あはれんまじりあはれん

十番 祝

尤 勝

まじりあはれんまじりあはれん

右

去み代にやふ法は神ふふふのを度は後うふん  
尤ふふふも在ふふふふふ代の神ふふふふふ  
おふふふふ

右後年東朝皇女多建那命以百死唐宗箇中孝一校了

*[Faint bleed-through text from the reverse side]*

高陽院七番歌合 寛治八年

櫻 祝

時鳥

月

雲

作者

尤

大般中納言君

四条宮筑前君 康資王母

周防内侍

右大臣家讚岐君

一宮紀伊君

信濃君

齋院松津君